# 最後の秋に進撃 江陵

秋季大会での活躍を誓う江陵ナイン

## 21年春閉校…部員20人「宿題」で頭脳磨いて"ラストチャンス"センバツまで

### 秋季高校野球十勝支部予選組み合わせ決まる

第72回秋季全道高校野球大会十勝支部予選の組み合わせが4日、決まった。21年春で閉校となる江陵は、2年生20人で最後の秋に臨む。伸び盛りの左腕・永島翼（2年）に加え、野手も今夏の6人がレギュラーと経験豊富。宿題で毎日実戦プレーの問題集をこなして頭脳も鍛えてきた。ラストイヤーでの初の甲子園に向け、初戦で帯広大谷と対戦する。全道10支部の支部予選はきょう5日、トップを切って旭川支部が開幕する。

◇十勝支部予選◇

▽Aブロック
帯広緑陽
本別　14日12:00
帯広工　20日9:00
音更・更別農・幕別清陵　14日14:30
芽室　22日9:00
池田・大樹・広尾　15日9:00
帯広農　20日11:30
足寄　15日11:30

▽Bブロック
帯広北
鹿追　15日14:00
帯広三条　21日9:00
帯広南商　16日9:00
帯広柏葉　22日11:30
清水　16日11:30
帯広大谷　21日11:30
江陵　14日9:30
白樺学園　16日14:00

※球場は帯広の森

### 練習試合あえて逆境設定し我慢

"ラストイヤー"が幕を開ける。幕別と事実上統合される江陵は既に生徒募集を停止しており、現2年生が卒業する21年3月に閉校する。それを承知で栃木から野球留学してきた永島は「最後の代で甲子園に行きたい」とドラマチックな結末を思い描く。

逆転負け続きだった前チームの反省を踏まえ、谷本献悟監督（39）は練習試合であえて逆境を設定した。永島が投げる時は控え野手が守り、レギュラーが守る時は経験の浅い投手が投げる。「中盤まで我慢して、終盤にどう仕掛けて逆転するか。選手が考えて動くようになった」と指揮官は手応えを口にする。

頭を使うきっかけになったのは、新チームから始めた1日3問の宿題だ。実戦で起こり得るプレーについてどう動くかの問題に、答えを書いて提出。翌日、答え合わせのミーティングで意見をぶつけ合う。尾崎太郎主将（2年）は「試合中も"これは何問目のケースだね"と言い合い、想定して準備する声の掛け方に変わった」と効果を実感する。

もともと野手6人が今夏のレギュラーと経験豊富。さらに、今夏1ドル58だった永島が1ドル66と急成長している。球速も130キロを超え、大きく割れるカーブとスライダーが生きるようになってきた。谷本監督は「肘の使い方やしぐさが似ている」と、16年夏の北海道大会4強時のエースだった154キロ左腕の古谷優人（現ソフトバンク）に重ね合わせる。

まずは17年夏以来の支部予選突破。その先に、最初で最後のセンバツ出場を見据える。

（石川　加奈子）

宿題の答え合わせをする谷本監督（右端）と選手たち（上）

エース永島（右）は先輩・古谷（右下）のような投球が期待される

### 事情知りつつ栃木から北海道へ エース永島"第二の古谷"になる

## 今日トップ切り 旭川支部が開幕

◇秋季大会支部予選日程◇

| 支部 | 日程 | 球場 |
|---|---|---|
| 札幌 | 9～17日 | 札幌円山、麻生 |
| 小樽 | 14～18日 | 小樽桜ケ丘 |
| 室蘭 | 7～16日 | とましんスタジアム |
| 函館 | 14～16、20～22日 | 函館オーシャン |
| 空知 | 14～17、21、22日 | 岩見沢市営 |
| 旭川 | 5～8、20～22日 | 旭川スタルヒン |
| 名寄 | 13～15日 | 稚内市大沼 |
| 北見 | 14～16、21、22日 | 北見市東陵公園 |
| 十勝 | 14～16、20～22日 | 帯広の森 |
| 釧根 | 10～15日 | 釧路市民 |
| 全道 | 10月6～13日 | 札幌円山、麻生 |

## 栗山語録2019

### 先発・加藤5回零封もF8連敗

◇22回戦（4日・ZOZOマリンスタジアム）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本ハム | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ロッテ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | X | | | | | | 4 |

（日）加藤、公文、石川直、宮西、秋吉―清水
（ロ）小島、田中、酒居、益田―田村
（本塁打）井上24号①、田村3号②（ロ）

いつものポーカーフェースで淡々と試合をつくった。チームが7連敗で迎えた先発。日本ハム・加藤は攻めの投球を展開した。

「やることは変わらない。集中して投げるだけです」。8月21日の西武戦以来のマウンドでも、強気に内角を攻めた。

「（2軍調整中も）特に変わったことはしていない」という通り、投球スタイルは変わらない。初回に先頭打者・岡にいきなり四球を与えたが、後続を抑えて無失点。初安打を許した4回も1死一、三塁で角中、中村を2者連続の空振り三振に斬った。

「今の苦しさは必ず意味がある」。栗山監督はどん底の現状についてそう言った。苦境の中、自らの役目に徹して5回無失点。加藤の左腕がチームに大きな流れを呼んだ。

しかし、負の連鎖なのか。6回から継投策で逃げ切りを図ったが、8回にエラーが重なって同点。9回に田村の2ランでサヨナラ負けし、8連敗となった。

＜ロ・日㉒＞先発日本ハム・加藤は好投を見せたが…

「苦しみまくっているけど、必ず何かが生まれると信じてやっていくしかない。元々、俺みたいなタイプは、うまくいっていると怖いし、苦しみまくりながら何かをつくっていく。だから、今は凄く大事な時期だと思ってやっている」（8月以降、黒星を重ねて最下位に低迷している現状について振られて）

「いいチャンスかなと思った。誰と誰がつながっていると相手は嫌なのかな、と考えたりしてね。個々に新しい側面が見えたりすることもある」（前日3日のロッテ戦で打線を大幅に組み替えたことについて）

### 12日東京D賢介引退セレモニー

F…今季限りで現役を引退する田中賢介内野手（38）の引退関連プロジェクト「FINAL」の一環で、かつての本拠地でもあった東京ドームの今季最終戦となる12日の楽天戦後にセレモニーを行う。試合前には東京ドーム時代の活躍を振り返るVTRの放映、試合後はチーム全体で応援に対する感謝のあいさつも行う。詳細は球団公式サイトまで。

### 野球少年少女の秋キャンプ開催 10・12～14

F…10月12日から14日に苫小牧市と紋別市で少年・少女野球で活躍する小学5、6年生を対象に「2019フォールキャンプ」を実施すると発表した。同キャンプは球団のアカデミーコーチが講師となり、オフシーズンに向けたトレーニングをはじめ、参加者全員が投手、捕手、内野手、外野手の練習を行い、全てのポジションの基礎を学ぶことで可能性を広げることが目的。応募方法など詳細は球団公式サイトまで。